

「武蔵百年の森プロジェクト」企画書（生徒向け）

中1の遠足コースにもなっている武蔵学園の「学校山林」は、1940年に日本紀元2600年の記念事業として、当時の父兄会（現在の保護者会）からの寄付金により土地を購入し、植樹等を行ったことをはじめとしています。当時は、太平洋戦争直前で、日本中が紀元2600年のお祭り騒ぎをしていましたが、時の校長山本良吉先生は「目先のお祭り騒ぎよりも遠い将来に意義を求めることが」を生徒たちに説き、国家の歩みへの批判も込めて国土緑化運動を果たしました。その後、現地近くの方に管理人をお願いして維持管理に努め、1960年以来、毎年春に、入学したばかりの中学生がこの地を訪れて親睦を深めるとともに武蔵の精神を学んでいく場ともなっています。

1981年には、武蔵赤城青山寮新築のための用材として、この山林に植えた檜の間伐材を使用しました。

また、1992年には、武蔵高等学校70周年記念植樹として、有志約150名によりクヌギとコナラの苗1000本余りが新たに植えられました。

現在、長年管理人を務めてくださった方がご高齢で引退となり、新たに管理をお手伝いしてくださる方々を迎えて、山林に込められた当初の理念を継承しつつ、新しい「百年の森」を皆の手で守ってゆく方法を考えてゆきたいと思います。つきましては、表題企画の立ち上げにあたり、コアメンバーとして企画の運営など手伝ってくれる有志生徒を募集します。

記

1. 企画名：武蔵百年の森プロジェクト

2. 現地：武蔵学園学校山林

所在地：埼玉県入間郡毛呂山町大字権現堂字南ムヂナヤ

面積：約32,000m²

参考webページ：<https://www.musashi.ed.jp/education/offcampus/excursion.html>

（本校web「山林遠足とは」）

3. 主な予定（時系列）

6月～企画全体を支える生徒のコアメンバー募集の呼びかけ

7月7日（月）特別授業5～6限 キックオフ講演会（大場隆博氏） 於：視聴覚教室

（仮題：いま森を守ることの意義はどこにあるのか？～林業と地域とのつながり）

2学期～ 第1回現地企画に向けての計画・準備開始

12月14日（日）予定 第1回現地企画【山林間伐作業】（翌月曜含めて二日間の可能性あり）

（または3月15日（日）：雨天予備日） ★ただし山には入れるのは最大で40人程度の予定

4. 企画運営スタッフ

プロジェクト・マネジャー：加藤十握（高中副校長）

学園スタッフ、生徒コアメンバー

管理協力団体：NPO しんりん（大場隆博理事長）

〒989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木70

TEL : 0229-25-4668 FAX : 0228-55-2001

5. コアスタッフ参加申請

コアスタッフとして企画に参加したい（または興味がある）生徒は、以下のフォームから取りあえずエントリーしてみてください。原則として7月7日（月）及び12月14日（日）企画に参加できる生徒とします。詳細は7月7日の講演会時に説明します。

【フォームリンク】 <https://forms.gle/mBa8FE8Amgh3Ye4E6>



(一次〆切 6月末)

(以上、2025年6月6日 文責：加藤十握)